

# 全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立新池中学校

## 1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

平成27年4月21日（火）

## 3. 調査の対象

中学校第3学年，全生徒

実施生徒数（199人）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び数学、理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「生徒アンケート調査」という。）を実施する。

### (3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べ上位層が少なく、下位層がやや多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 72.0／泉佐野市 70.8／大阪府 74.4／全国 75.8）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国に比べ上位層が少なく、下位層がやや多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 60.6／泉佐野市 59.9／大阪府 64.8／全国 65.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 相手の反応を踏まえて話すことに課題がある。 1一. スピーチの途中で聞き手の反応を見て、とった対応として適切なものを選択する。(87.9/93.0)</p> <p>必要に応じて質問しながら聞き取ることに課題がある。 8一. インタビューをする際の質問の意図として適切なものを選択する。(76.3/84.6)</p> <p>【書くこと】 意見を支える根拠の明確さについて助言することに課題がある。 2一. 意見文に対して出された指摘の理由として適切なものを選択する。(68.7/79.8)</p> <p>書いた文章を読み返し、語句の選び方や使い方を工夫して書くことに課題がある。 2二. 意見文を直した意図として適切なものを選択する。(75.8/83.6)</p> <p>伝えたい事実を明確に書くことに課題がある。 4一. 棒グラフの□部の変化の内容を適切に書く。(61.1/67.6)</p> <p>伝えたい事柄が明確になるように文章の構成を考えることに課題がある。 7一. 二つの回答案の構成の違いを説明したものとして適切なものを選択する。(60.1/70.6)</p> <p>伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことに課題がある。 7二. 要望を適切に捉え、回答案の冒頭に一文を加える。(57.1/66.4)</p>	<p>【読むこと】 登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解することに課題がある。 3二. 一人も返事をしたものがなかった理由として適切なものを選択する。(83.3/88.7)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 文脈に即して漢字を正しく書くことは概ねできている。 9一2. 漢字を書く。(地図のシュクシャクを調べる)(79.8/72.1)</p> <p>文脈に即して漢字を正しく読むことは概ねできている。 9二2. 漢字を読む。(シャツの袖をまくる)(96.5/94.1) 9二3. 漢字を読む。(学校のことを新聞に載る)(97.0/97.2)</p> <p>語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題がある。 9三エ. 適切な語句を選択する。(彼女は、学級の縁の下の力持ちと言える存在だ)(46.5/70.8) 9三オ. 適切な語句を選択する。(たなびく雲の間から、春の光がもれている)(37.4/49.0)</p> <p>単語の類別について理解することは概ねできている。 9四②. 「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する。(39.4/33.7)</p> <p>手紙の書き方を理解して書くことに課題がある。 9六. 手紙の後付けの直し方とその理由として適切なものを選択する。(44.4/58.2)</p>

<p><b>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</b>  漫画の内容を参考にして、登場人物の思いやもの見方を想像することに課題がある。  9七1. 漫画の言葉に対応する部分として適切なものを古典の文章の中から選択する。  (68.2/75.3)</p> <p>代表的な古典の作品に関心を持つことは概ねできている。  9七2. 古典の作品名を漢字で書く。(73.7/66.7)</p>	
<p>国語B</p>	<p>特徴がみられた設問</p>
<p><b>【話すこと・聞くこと】</b>  状況に応じて、資料を活用して話すことに課題がある。  1一. ノートのその他の情報を役立てられる場合として適切なものを選択する。  (65.7/73.2)</p> <p>資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書くことに課題がある。  1三. 演奏するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く。(49.0/56.2)</p> <p><b>【書くこと】</b>  複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことに課題がある。  2三. 資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く。(19.7/23.0)</p>	<p><b>【書くこと】</b>  文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。  3三. 文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く。(22.7/31.1)</p> <p><b>【読むこと】</b>  目的に応じて文章を要約することに課題がある。  2一. ウェブページの文章の内容について述べた文の空欄に当てはまる言葉として適切なものを選択する。(77.3/82.6)</p> <p>表現の工夫について自分の考えをもつことに課題がある。  3二. 「あたりは……良かった。」の説明として適切なものを選択する。(74.2/82.6)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	62.3	60.5		1.8
国語の勉強は大切だと思いますか	89.1	89.9		0.8
国語の授業の内容はよく分かりますか	70.3	74.3		4.0
読書は好きですか	49.5	67.9	○	18.4
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	82.7	84.2		1.5
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	47.6	59.2	○	11.6
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	45.1	54.0	◇	9.9
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	58.4	65.7	◇	7.3
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	66.3	70.6		4.3
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	92.1	95.9		3.8

○書くことの領域が特に正答率が低く、自分の考えを表現することが苦手である。今回の調査に限らず、普段のテストなどでも記入はしているが、伝わらない解答が多い。自分を表現するための演習時間を授業の中で多く確保したい。

○伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項でも結果に伸びが見られず、古典への関心の低さが気になる。映像などを使用し、生徒が興味の持てるきっかけ作りをしていきたい。

○自分で工夫し、考える力をつけるため、プレゼンテーション・ディベート・ディスカッションに前向きに取り組ませたい。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国と近いが、全国と比べ上位層が少ない。  
平均正答率（本校 59.0／泉佐野市 59.4／大阪府 64.3／全国 64.4）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国と近いが、全国と比べ下位層に偏りがみえる。  
平均正答率（本校 35.5／泉佐野市 36.5／大阪府 41.4／全国 41.6）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学A	特徴がみられた設問
<p><b>【数と式】</b> 比の意味の理解は概ねできている。 1 (1) 12:9 と等しい比を選ぶ。(94.0/93.6)</p> <p>加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算することに課題がある。 1 (2) <math>12 - 2 \times (-6)</math> を計算する。(78.4/83.7)</p> <p>正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解することに課題がある。 1 (4) ある日の最低気温を基準にして、その前日の最低気温との差から、前日の最低気温を求める。(69.8/75.4)</p> <p>一次式の減法の計算することは概ねできている。 2 (1) <math>5x - x</math> を計算する。(87.4/85.3)</p> <p>数量の関係を文字式に表すことに課題がある。 2 (2) 赤いテープの長さが <math>a</math> cm で、白いテープの長さの <math>\frac{3}{5}</math> 倍のとき、白いテープの長さを <math>a</math> を用いた式で表す。(17.6/22.2)</p> <p>文字を用いた式で数量の関係を説明するための構想を理解することに課題がある。 2 (4) 連続する3つの整数のうち最も小さい整数を <math>n</math> とするとき、それらの和が中央の整数の3倍になることを、<math>n</math> を用いた式で表す。(50.8/57.0)</p>	<p>方程式を解く場面における等式の性質の用い方について理解することに課題がある。 3 (1) 一元一次方程式 <math>7x = 5x + 4</math> を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ。(73.9/79.4)</p> <p>具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることに課題がある。 3 (3) 連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ。(36.2/44.9)</p> <p><b>【図形】</b> 平行移動した図形をかくことに課題がある。 4 (2) <math>\triangle ABC</math> を、矢印の方向に 4 cm 平行移動した図形をかく。(47.7/54.5)</p> <p>直角三角形の斜辺を軸とする回転によって構成される空間図形の形を理解することに課題がある。 5 (2) 直角三角形の斜辺を軸として回転させてできる立体を選ぶ。(78.4/83.4)</p> <p>与えられた投影図から空間図形を読み取ることに課題がある。 5 (3) 与えられた投影図から立体を読み取り、その立体を選ぶ。(77.9/83.8)</p> <p>与えられた式を用いて体積を求めることができる立体を理解することに課題がある。 5 (4) 与えられた式で体積が求められる立体を全て選ぶ。(48.2/56.4)</p> <p>同位角の意味を理解することに課題がある。 6 (1) 同位角の位置にある角について正しい記述を選ぶ。(71.9/80.3)</p>

<p><b>【図形】</b>  多角形の内角の和の性質を理解することに課題がある。  6 (2) 四角形を五角形に変えたときの、内角の和の変化について正しい記述を選ぶ。  (64.3/69.7)</p> <p>ひし形の「対角線は垂直に交わる」という性質を、記号を用いた表現から読み取ることにより課題がある。  7 (1) ひし形 ABCD において、<math>AC \perp BD</math> が表す性質を選ぶ。(62.8/76.1)</p> <p>証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解することに課題がある。  7 (2) 証明で用いられている三角形の合同条件を書く。(67.8/76.1)</p> <p>作図の根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解することに課題がある。  7 (3) 与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ。(37.2/48.1)</p> <p>証明の必要性和意味を理解することに課題がある。  8. 対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ。(20.6/25.8)</p> <p><b>【関数】</b>  関数の意味を理解することに課題がある。  9. <math>y</math> が <math>x</math> の関数でない事象を選ぶ。  (76.4/81.5)</p> <p>反比例のグラフが <math>x</math> 軸、<math>y</math> 軸に限りなく近づく2つのなめらかな曲線であることを理解することに課題がある。  10 (1) 反比例のグラフを選ぶ。(51.8/61.7)</p>	<p><b>【関数】</b>  与えられた比例の式について、そのグラフ上の点の <math>x</math> 座標を基に <math>y</math> 座標を求めることに課題がある。  10 (2) 比例 <math>y=2x</math> のグラフ上の点 A の <math>x</math> 座標が 3 のときの <math>y</math> 座標を求める。(55.8/64.9)</p> <p>一次関数の表から、<math>x</math> と <math>y</math> の関係を式で表すことに課題がある。  11 一次関数の表から、<math>x</math> と <math>y</math> の関係を表した式を選ぶ。(53.8/64.7)</p> <p>時間と道のりの関係を表すグラフについて、グラフの傾きが速さを表すことを理解することに課題がある。  12 (1) 時間と道のりの関係を表すグラフから、速さが最も速い区間を選ぶ。(43.7/49.9)</p> <p>二元一次方程式の解を座標とする点の集合は、直線として表されることを理解することに課題がある。  13. 二元一次方程式 <math>x+y=3</math> の解を座標とする点の集合として正しいものを選ぶ。(35.7/37.9)</p> <p><b>【資料の活用】</b>  与えられた資料の度数分布表について、ある階級の度数を求めることに課題がある。  14 (2) 度数分布表について、ある階級の度数を求める。(70.4/75.9)</p> <p>起こり得る場合を順序よく整理し、場合の数を求めることに課題がある。  15 (1) セットメニューの選び方の総数を求める。(65.3/74.8)</p> <p>多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解することに課題がある。  15 (2) さいころを投げるときの確率について正しい記述を選ぶ。(34.2/65.4)</p>
---	--

数学B	特徴がみられた設問
<p><b>【数と式】</b>            発展的に考え、予想した事柄を説明することに課題がある。            2 (3) 連続する5つの整数の和について成り立つ事柄を表現する。(56.8/63.8)</p> <p>振り返って立てられた構想に沿って、事象を数学的に表現し、その意味を解釈することに課題がある。            5 (3) 記名のある落とし物を1個1点、ない落とし物を1個2点として集計するとき、表彰する学級の決め方として正しい記述を選ぶ。            (58.3/67.3)</p> <p><b>【図形】</b>            平面図形と空間図形を関連付けて事象を考察し、その特徴を的確に捉えることに課題がある。            3 (1) ポップアップカードを<math>90^\circ</math>に開いたとき、四角形EFGHが正方形になる場合のEFの長さを求める。(32.2/42.6)</p> <p>図形に着目して考察した結果を基に、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明することに課題がある。            3 (2) 四角形EFGHがいつでも平行四辺形になるように点Fの位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明する。            (12.6/21.2)</p> <p>発展的に考え、条件を変えた場合について証明することに課題がある。            4 (2) 正方形ABCDを平行四辺形ABCDに変えても、<math>AE=CF</math>となることの証明を完成する。(39.2/49.6)</p>	<p><b>【関数】</b>            与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することに課題がある。            1 (1) 投映距離と投映画面の高さの関係を式で表す。            (25.1/29.3)</p> <p>必要な情報を選択して的確に処理し、その結果を事象に即して解釈することに課題がある。            1 (2) 投映画面がスクリーンに収まり、できるだけ大きく映し出すことができる投映距離を選ぶ。            (33.7/35.1)</p> <p>事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。            1 (3) 映像の明るさを2倍にするための投映画面の面積の変え方を選び、その理由を説明する。            (6.0/11.7)</p> <p>与えられた表や式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することに課題がある。            6 (2) 底面になる円の半径の長さが8cmのとき、表や式から、側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求める方法を説明する。(27.1/30.8)</p> <p><b>【資料の活用】</b>            与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することに課題がある。            5 (1) 1回目の調査で、落とし物の合計のうち、文房具の占める割合を求める式を答える。(25.6/39.1)</p> <p>資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。            5 (2) 2回目の調査の方が落とし物の状況がよくなったとは言い切れないと主張することもできる理由を、グラフを基に説明する。(17.1/23.3)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	55.5	56.0		0.5
数学の勉強は大切だと思いますか	80.2	82.6		2.4
数学の授業の内容はよく分かりますか	69.8	71.6		1.8
数学ができるようになりたいと思いますか	93.1	91.5		1.6
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	72.7	69.8		2.9
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	44.0	40.9		3.1
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	71.7	72.5		0.8
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	70.3	67.5		2.8
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	63.3	70.1	◇	6.8
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	82.7	80.6		2.1
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	54.0	51.3		2.7

○図形の性質や条件についての定着度が十分ではないので、新しい単元に入る前に既習事項をプリントなどで復習する。例えば、3年生の相似の単元に入る前に、2年生の合同の単元を復習し、合同と相似の違いにも触れる。

○グラフや図を用いて説明することに苦手意識を持った生徒が多いので、教科書指導だけでなく、様々な課題を与え、生徒が主体的に考える時間を積極的に作ることが必要である。また、その考えを発表する場を設けた上で、考えに対する根拠を述べる機会も作る必要がある。

○発展的な問題に対して課題があるので、基礎・基本的な課題以外に、公立高校の入試問題などで扱われているような、数学的な思考力が必要になる課題にも挑戦する機会を作っていくことが必要である。



平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国と近いが、全国と比べ上位層が少ない。

平均正答率（本校 46.8／泉佐野市 48.2／大阪府 50.8／全国 53.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
<p><b>【物理的領域】</b> 凸レンズによってできる像を調べる実験の結果を分析して解釈し、規則性を指摘することに課題がある。</p> <p>4（1）実験の結果から、凸レンズによる実像ができるときの、像の位置や大きさについて適切な説明を選ぶ。（38.2／43.7）</p> <p>他者の考えた実験の方法を検討して改善し、適切な方法を説明することに課題がある。</p> <p>4（2）ヒトの「目のレンズと網膜の距離はほぼ変わらない」という条件に合う方法を選ぶ。（42.2／50.3）</p> <p>オームの法則を使って、抵抗の値を求めることに課題がある。</p> <p>5（1）抵抗に加わる電圧と流れる電流から、抵抗の大きさを計算して求める。（50.8／59.6）</p> <p>技術の仕組みを示す場面において、スイッチの入り切りによる磁界の変化を説明することに課題がある。</p> <p>5（2）電磁石を動かさず、スイッチを入れたり切ったりすると、検流計の針が振れる理由を、「磁界」という言葉を使って説明する。（45.2／56.8）</p> <p>音の高さは、「空気の部分の長さ」に関係していることを確かめる実験を計画することに課題がある。</p> <p>6（2）音の高さは、空気の部分の長さに関係しているという仮説が正しい場合に得られる結果を予想して選ぶ。（26.1／29.9）</p> <p><b>【科学的領域】</b> 塩化ナトリウムを化学式で表すことは概ねできている。</p> <p>1（1）化学式 塩化ナトリウムの化学式を選ぶ。（82.4／79.6）</p>	<p><b>【科学的領域】</b> 実験の結果を分析して解釈し、炭酸水素ナトリウムを溶かした方の試験管を指摘することに課題がある。</p> <p>1（2）同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき、どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを選ぶ。（35.2／32.6）</p> <p>二酸化炭素の体積を量る場面において、水上置換法では正確に量れない理由を説明することに課題がある。</p> <p>1（3）水上置換法では二酸化炭素の体積を正確に量れない理由を説明する。（47.2／53.0）</p> <p>炭酸水素ナトリウムが二酸化炭素の発生に関係することを特定する対照実験を計画することに課題がある。</p> <p>1（5）ベーキングパウダーの原材料で、気体の発生に関係しているのが、炭酸水素ナトリウムであることを特定するための対照実験を選ぶ。（47.2／51.7）</p> <p>他者の考えを検討して改善し、混合物を加熱したときの化学変化を説明することに課題がある。</p> <p>1（6）他者の考えを検討して改善し、炭酸水素ナトリウムとクエン酸の混合物を加熱したときの化学変化の説明として最も適切なものを選ぶ。（48.7／57.7）</p> <p><b>【生物的領域】</b> デンプンが消化酵素によって分解されて、最終的にできる物質の名称を表すことに課題がある。</p> <p>7（1）消化酵素によって、デンプンが最終的に分解された物質の名称を選ぶ。（64.8／72.2）</p> <p>実験の結果を分析して解釈し、キウイフルーツはゼラチンを分解することを指摘することに課題がある。</p> <p>7（2）キウイフルーツがゼラチンや寒天を分解する働きを説明した記述として適切なものを選ぶ。（66.3／76.4）</p>

<p><b>【生物的領域】</b> 見いだした問題を基に、適切な課題を設定することに課題がある。 7 (3) キウイフルーツの上に置いたゼリーの崩れ方に違いが見られたという新たな疑問から、適切な課題を記述する。(41.2/57.3)</p> <p>他者の考察を検討して改善し、課題に対して適切な(課題に正対した)考察を記述することに課題がある。 課題に対して適切な(課題に正対した)考察になるよう修正する。(32.7/47.4)</p> <p><b>【地学的領域】</b> 天気の記事から風力を読み取ることに課題がある。 2 (1) 天気図から風力を読み取る。(62.8/77.9)</p>	<p><b>【地学的領域】</b> 天気の記事から風向を読み取り、風向計を使って風向を観測することに課題がある。 2 (2) 天気図から風向を読み取り、その風向を示している風向計を選ぶ。(40.7/48.6)</p> <p>他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明することに課題がある。 2 (3) 湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する。(9.0/14.5)</p> <p>露点を測定する場面において、最も高い湿度の時刻を指摘することに課題がある。 3 (1) 13時から16時の四つの気象観測の記録から、最も高い湿度を選ぶ。(25.4/36.5)</p>
---	--

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	45.1	61.9	○	16.8
理科の勉強は大切だと思いますか	61.9	69.3	◇	7.4
理科の授業の内容はよく分かりますか	53.0	66.8	○	13.8
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	65.3	75.5	○	10.2
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	45.0	46.9		1.9
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	49.0	54.3		5.3
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	26.8	22.9		3.9
理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	23.7	38.4	○	14.7
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	70.3	83.9	○	13.6
観察や実験を行うことは好きですか	69.3	80.1	○	10.8
理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	38.1	55.0	○	16.9
理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	44.0	67.2	○	23.2
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	39.6	55.0	○	15.4
今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	44.1	51.8	◇	7.7

○質問項目の「理科の勉強は好きですか」に対する肯定的な意見は、全国の結果と比べると大きく差がある。今後は、生徒たちが授業で意見を発表する機会や、きめの細かい指導方法の工夫・改善を行うことにより、生徒の理科学習への興味関心を喚起し、達成感を十分に味わえるような授業を展開していく必要がある。

○質量パーセント濃度や溶解度などの計算問題について課題が残っているのが現状である。計算問題については解き方を丁寧に説明しているものの、演習時間を多くとることができていないので、授業中に演習量を増やすための工夫が必要である。

○日常生活や社会の特定の場面における自然の事物、科学的な事象において、教科で学習した知識や技能を活用することに課題がある。そこで、知識や技能を理解するだけでなく、活用し、説明することができるように、TV(VTR)などの視聴覚教材を利用し、子どもたちの理解を深める取り組みを進めていく。

○授業において、自分の考えや考察を説明したり発表する機会を作るために、班別で話し合う機会を積極的に作っていく必要がある。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<p>○日常的な生活習慣に関する内容では、全国と比較すると大きく差があるものもある。</p> <p>○普段（月～金曜日）、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを4時間以上利用する生徒の割合は全国を大きく上回っているが、ニュースに関心がある生徒の割合は全国より下回る。</p> <p>○生徒と地域との関わりに関する項目では、全国と比べると大きく差があるものがある。</p>	<p>○朝食を毎日食べていますか。 &lt;87.6/93.5&gt;</p> <p>○毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 &lt;64.4/75.2&gt;</p> <p>○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く） &lt;19.8/9.9&gt;</p> <p>○テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む） &lt;75.3/83.9&gt;</p> <p>○家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか。 &lt;72.8/83.4&gt;</p> <p>○今住んでいる地域の行事に参加していますか。 &lt;35.1/54.8&gt;</p> <p>○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。 &lt;45.5/55.9&gt;</p> <p>○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。 &lt;24.2/32.9&gt;</p>

<p>【家庭学習の様子】</p>	<p>○日常的に学校以外でも長時間学習している生徒が、全国と比べると多い傾向にある。</p> <p>○学校での取り組みである、自学自習ノートの成果が出ているが、学習の仕方や内容に関しては課題が見える。</p>	<p>○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 3時間以上 &lt;24.3/10.4&gt;</p> <p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 4時間以上 &lt;14.9/5.5&gt;</p> <p>○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。 &lt;38.2/48.8&gt;</p> <p>○家で、学校の宿題をしていますか。 &lt;83.7/89.3&gt;</p> <p>○家で、学校の授業の予習をしていますか。 &lt;26.3/35.3&gt;</p> <p>○家で、学校の授業の復習をしていますか。 &lt;46.0/52.0&gt;</p>
<p>【学校での学習の様子】</p>	<p>○自信を持って自分の意見を発表できる生徒の割合は、全国と比べて高い。</p> <p>○総合的な学習の時間に学習した内容が、うまく活用できていないことが分かる。</p> <p>○授業の中での話し合い活動は、全国と比べて大きな差があり、課題が残る。</p>	<p>○友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。 &lt;55.4/49.6&gt;</p> <p>○あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか。 &lt;68.3/78.3&gt;</p> <p>○「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか。 &lt;65.9/74.6&gt;</p> <p>○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。 &lt;41.5/58.0&gt;</p> <p>○1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。 &lt;78.2/85.9&gt;</p> <p>○1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。 &lt;68.8/78.2&gt;</p> <p>○1, 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。 &lt;59.4/65.7&gt;</p> <p>○生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。 &lt;57.4/62.9&gt;</p>

	<p>○授業のねらいやまとめの内容が、生徒にはうまく伝わっていない現状があるので、さらに工夫が必要である。</p> <p>○国語科の課題にもあったが、書くことに関して苦手意識を持っている生徒が、全国と比較すると多い。</p> <p>○わからないことを解決するために、先生に聞こうとする生徒の割合が、全国と比べて多い。</p>	<p>○1, 2年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。 &lt;65.3/79.7&gt;</p> <p>○1, 2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。 &lt;45.6/59.3&gt;</p> <p>○1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか。 &lt;61.9/73.7&gt;</p> <p>○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。 &lt;83.3/64.4&gt;</p> <p>○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。 &lt;75.2/64.4&gt;</p> <p>○授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。 その場で先生に尋ねる &lt;22.3/10.6&gt; 友達に尋ねる &lt;22.8/35.9&gt; 学習塾の先生（家庭教師も含む）に尋ねる &lt;27.7/15.1&gt;</p>
【自分自身について】	○自分に良いところがあると感じている生徒は、全国と比べて少ない。	○自分には良いところがあると思いますか。 <57.9/68.1>

## 本校の取組み

### ◎これまでの取組み

- ・全学年で朝の学習を実施している。その際に、大阪府教育委員会から配信されている「学習指導ツール」の中の「ワークシート」や「力だめしプリント」を積極的に活用している。
- ・1, 2年生では「基礎」の時間を週に1時間設定し、学習内容の確認・復習を行うためのプリント学習を実施している。
- ・1年生では、まなびんぐサポート事業を活用し、希望者に対して放課後学習を実施している。
- ・長期休業中には、補充学習を全学年で実施している。
- ・1年生では、テスト前に補充学習を実施し、全学年の教員で関わるとともに、定期的に学年単位で希望者に対して補充学習を実施している。
- ・学力向上委員会が主催して、学期ごとに「学びあえる仲間づくり」をテーマにした研究授業を実施している。その中で、自分の意見を伝えるために「根拠」をつけて話すように指導している。また、教師が互いに学びを高めるために模擬授業を実施し、授業力の向上を図っている。
- ・学力向上担当者が、積極的に校外研修に参加し、そこで得た知識を校内研修で伝達講習している。
- ・教師の授業力向上のために、言語技術教育に着目し、校内研修を実施している。
- ・泉佐野市教育委員会主催の授業・保育づくり研修においても、研究授業を実施している。
- ・家庭学習を定着させるために、学年や学校全体でマイチャレンジ（自学自習ノート）の取り組みを行っている。
- ・情報教育についての授業を実施している。その中で、スマートフォン・携帯電話の使用に関する学習を通して情報モラルについて理解を深めている。
- ・6月にhyper-QUを実施し、その分析・検証を校内研修で行い、本校の生徒の状況把握や理解に全職員が努めている。また、生徒指導担当が毎年4月に生徒指導に関しての校内研修を実施し、全職員が同じ方向性を持って指導できる環境や体制を構築している。
- ・6月に標準学力検査（CRT）を2年生で実施し、その分析・検証を校内研修で行った。その中で、教科の中でもどの分野に課題が残っているのかを明確にした。
- ・昨年度のチャレンジテストの結果の分析・検証を校内研修で行った。
- ・生徒会や部活動に参加している生徒を中心に、青少年指導員やPTAの方々とともに校区内の清掃活動に参加した。

### ◎これからの取組み

- ・情報教育を深めるために、企業による講演会や授業を生徒指導委員会主催で予定している。
- ・2回目のhyper-QUを実施し、生徒の状況がどのように変化したのかを校内研修で分析・検証し、生徒一人ひとりの状況や学級の状態を的確に把握することにより生徒理解を深めながら、より適切な指導や対応につなげていく。
- ・長期休業に補充学習を実施することを予定している。
- ・学力向上委員会主催の研究授業を2学期と3学期に1回ずつ実施する。
- ・標準学力検査（CRT）を2年生の3学期に実施する。
- ・11月に実施される行事である新池フェスタでは、PTAや青少年指導員を中心にした地域の方々や生徒会や部活動に参加している生徒で、防災に関する企画を立てて取り組みを進めている。